

□GlobalFlow5 の制限事項

- =====
- ・1つのDBに2つ以上のWebサーバーを接続する場合、「サーバー保存アクティビティ」に設定する「保存先」は共有するファイルシステム上を指定してください。なお、2つのWebサーバーのOSが異なる場合、保存先を共有することはできません。
 - ・パスを含めたサイズが260Byteを超えるような長いファイル名を添付した場合、添付ファイルを保存するとファイル名が途中で切れることがあります。
 - ・メニューに表示されるカテゴリ名が、メニュー表示幅より長い名称となっている場合、表示可能文字数に連続した半角英数字が存在すると、以下の現象が起こることがあります。表示可能文字数は、利用者のブラウザの文字サイズにもよりますが、カテゴリ名の27byte~32byteになります。
 - * カテゴリ名の表示開始位置がずれることがあります。
 - * 連続した半角英数字以降の名称が非表示になることがあります。
 - * メニュー一覧表示フィールドの表示割合が変更されて書類・テンプレート・プロセスを選択することが出来なくなる可能性があります。
 - ・カテゴリ名に連続した半角英数字が存在すると、テンプレート管理画面から開かれるプロセス一覧やテンプレート一覧の画面が崩れる場合があります。画面の表示幅を調節して回避してください。
 - ・Internet Explorer5.5 SP1をご使用の場合、プロセスやテンプレートのエクスポートを行う際に、「名前を付けて保存」画面のファイルの種類がHTML Documentになる場合があります。
 - ・最新版のActiveXのダウンロードを行う場合、ダウンロード中にActiveXが表示されているタブをクリックすると、ActiveXが表示されない場合があります。ダウンロードが完了するまでは、タブの切り替えを行わないでください。ActiveXが表示されない場合は、ブラウザを更新して、再度ActiveXのダウンロードを行ってください。
 - ・ブラウザがFirefoxの場合、カスタマイズしていない状態をご利用ください。
 - ・StraFormXを使用した帳票でキーワード連携を行う場合、機種依存文字、一部の記号を使用するとキーワード連携が正常動作しない恐れがあります。

- 1.00R04 以前に、Doc 保存されたワークフローの書類から、アーカイブ形式でデータを出力した場合、経路上に現在処理中のアイコン、処理開始日が表示されません。
- セキュリティマスター管理機能を利用しないモードに設定した場合、セキュリティマスターを利用する設定に変更することはできません。

□Internet Explorer 5.5、Internet Explorer 6 で使用するうえでの注意事項

- ブラウザーのステータスに表示されるプログレスバーが伸びたままになることがあります。
 - (ActiveX を未使用の場合) Internet Explorer のセキュリティパッチにより拡張子 EML、MHT の添付ファイルは内容表示できないことがあります。
 - ご使用のブラウザーにアドインソフトが導入されている場合、ActiveX が正しく動作しない場合があります。
 - (WindowsXP SP2 をご使用の場合) 「ポップアップがブロックされました」のメッセージが出る場合があります。メッセージを右クリックして「このサイトをポップアップ許可サイトに登録する」を選択してください。
 - UTF-8 で記述されているページを表示している際に、ブラウザーの文字サイズが表示していたサイズから切り替わる場合があります。
-